



「はじめてのおつかい」

教 頭 金 洋 輔

先日、ある子どもに尋ねられました。「先生の好きなテレビ番組は何？」と。少し悩んだ時に頭にパツと浮かんだのが、「はじめてのおつかい」です。保護者の皆様もご覧になったことがあるのではないでしょうか。

「はじめてのおつかい」は、1991年から不定期に放送されている、30年以上続く長寿バラエティ番組です。生まれて初めて自分でおつかいに出かける子どもの奮闘ぶりがドキュメントタッチで描かれており、その基本的な構成は、次のとおりです。

- 1 子どもが「はじめてのおつかい」に行かなければならない状況をつくる。
- 2 その状況を子どもに伝え、おつかいの中身や道のりを教えると共に、精一杯励ましたり、やる気を引き出したりする。
- 3 撮影クルー（スタッフ、カメラマンなど）が通行人などに変装し、子どもの安全を見守る。
- 4 道々で子どもが様々な困難にぶつかる。例えば、大きな鳴き声で吠える犬がいたり、買い物の中身を忘れてたり、買い物袋が破けたりなど。しかし、周囲の大人は決して直接的に手を貸したりはしない。子どもは、おつかいを果たすため、自分の持てる力を最大限に発揮して、あきらめずに粘り強く困難を乗り越えようとする。その様子が子どもの一瞬一瞬の表情やつぶやきから伝わってくる。
- 5 子どもは困難を乗り越え、ついにおつかいを果たす。安堵の気持ちと早く家に帰って家族に会いたい気持ちとが入り交じる。
- 6 玄関先で帰りを待つ家族の顔を見た時の子どもの表情、駆け寄ってくる我が子を見るお母さんお父さんの表情。親は涙！子も涙！番組ゲストも見ている視聴者も涙！

この番組の立ち上げのきっかけは、同名の絵本『はじめてのおつかい』（筒井頼子 作／林明子 絵）だそうです。当校の図書室にもありました。あらすじを紹介します。

はじめて一人でおつかいに行かされることになったみいちゃん。みいちゃんは、たった一人で牛乳を買いに出かけます。途中、転んでお金を落としたり、お店では小さな声しか出せなかったり、なかなかうまくいきません。どきどきすることがたくさんありましたが、不安と緊張の中、やっと牛乳を手にしたときぼろんと一つ、我慢してた涙が落ちこちてしまいます。（略）

「はじめてのおつかい」は、おつかいの中で遭遇する困難に立ち向かう子どもの姿を通して、私たち大人に、子どもが大きくなるとはどういうことか、その自立をいかにして応援するかなど、育児・教育のあり方などを考える機会を与えてくれているように感じます。

「教育は、共育である」という言葉があります。これには、二つの意味があるようです。

一つは、「共に育てる」ということ。学校の教職員や保護者の皆様、地域の方々など、子どもに関わる多様な立場の方が連携して子どもたちを育てるという意味です。

もう一つは、「共に育つ」ということ。教職員も保護者の皆様も、子どもと接しながら一緒に学び成長するということです。

どちらの「共育」のためにも一番大切にしたいことは、「はじめてのおつかい」のように、子どもの自ら育とうとする大きな力を信じ、敬重することだと思います。

7月になります。学校では、個人懇談の場を設定させていただいております。保護者の皆様と一緒にお子さんについての理解を深め、よりよい「共育」の機会の一つになればと考えております。どうぞ、よろしく願いいたします。



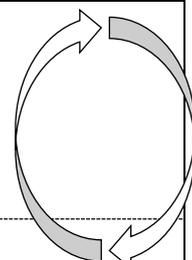
各プロジェクトについて

令和5年度の有明台小学校の教育活動は、2つのプロジェクトを中心に行います。

学校教育ビジョンに掲げた2つの資質・能力「目標の達成に向け違いを認め合い他者と協働する力」「学びを深めよりよい考えを創り出す力」を育成することが目的です。

以下に、各プロジェクトの主な取組について紹介します。

| プロジェクト名 | 主な取組 |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カリキュラム・マネジメントプロジェクト | <input type="checkbox"/> 授業の質的向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の吟味とアウトプット <input type="checkbox"/> 生活科と総合の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実生活、実社会の課題解決にチャレンジする単元開発 |
| ダイバーシティ・インクルーシブプロジェクト | <input type="checkbox"/> 支持的風土の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 違いを認め、自他の良さを生かす活動の展開 <input type="checkbox"/> 教育活動を支えるインクルーシブ教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な個性を認め合う活動 ・ すべての子どもたちが安心して学べる授業づくり、基礎的環境整備 ・ 保護者、外部機関との連携による個別の支援 |



それぞれが重なり、一体となって、教育活動に取り組みます。

7月、8月の主な行事予定(変更になる場合があります)

| 月 | 日 | 曜 | 行事等 |
|----|----|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 7 | 4 | 火 | 音楽発表朝会 (1、3、5年) いい土づくり体験① (午前: 4年) |
| | 5 | 水 | 特別時程5限 (児童下校 14:15 市小研の日) |
| | 6 | 木 | 個人懇談① 授業4限・清掃なし |
| | 7 | 金 | 個人懇談② 授業4限・清掃なし いい土づくり体験② (午前: 4年) |
| | 10 | 月 | 個人懇談③ 授業4限・清掃なし |
| | 11 | 火 | 個人懇談④ (1~5年) 授業5限・清掃なし 全校計算テスト |
| | 12 | 水 | 委員会 |
| | 14 | 金 | 町内子ども会 |
| | 17 | 月 | 海の日  |
| | 18 | 火 | 全校5限 (月曜授業) |
| | 19 | 水 | クラブ③ |
| | 21 | 金 | 前期前半終了日 (全校朝会・全校4限・給食・清掃・放課) 陸上現地練習 |
| | 24 | 月 | 夏季休業日 [~8月30日(水)] |
| 25 | 火 | 新潟市陸上競技記録会: 新潟市陸上競技場 | |
| 8 | 31 | 木 | 前期後半開始日・全校朝会・全校3限・給食なし・清掃なし・放課 児童下校 11:40 |



お知らせ

- ① 昨年度から、暑中見舞いと年賀状の代わりに安心・安全メールを活用した「お子さんの様子についてのアンケート」により行っております。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ② 4年生「にじいろ音楽祭」の日がちがいました。11月8日(木)午後の部です。詳細については、後日配付のたよりでご確認ください。